

第7回仙北市国家戦略特別区域会議 資料

仙北市 地方創生・近未来特区



日本一深い田沢湖

仙北市農山村体験推進協議会

平成21年設立。仙北市の自然的資源・文化的資源を活用した農山村体験グリーンツーリズムによる教育旅行生や観光客と地域住民との交流を通じ、教育的効果と農業・農村の交流人口の増加による地域活性化を目指す団体。

平成27年度「オーライ！ニッポン大賞」を受賞。平成28年度「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」フレンドシップ賞を受賞。

平成30年1月24日、旅行業登録。



旅行者



●地域資源

●体験プログラム

- 農林作業・農村生活体験
- 樺細工体験
- 鎌足和紙すき体験
- そば打ち体験
- 餅菓子づくり体験
- 登山・トレッキング
- カヌー&カヤック体験
- マウンテンバイク
- 栗拾い体験
- スノートレッキング体験
- ミニ提灯絵付け体験…etc



パッケージ販売

部分販売・案内

商品化提案

閲覧・予約

利用者

- ・市民や国内旅行者
- ・外国人旅行者
- ・学校
- ・外郭団体
- ・旅行エージェント



【受入れ実績】 ※平成30年3月～11月末現在

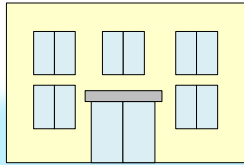
個人旅行	74人	518,000円
国外団体旅行	305人	2,625,920円
国内教育旅行	260人	1,653,200円
農業体験ツアー	108人	1,097,500円
合計	747人	5,894,620円

地域限定旅行業における旅行業務取扱管理者の要件緩和(構造改革特区特定事業1226)

規制項目・緩和内容提案

【現状】 営業所に1人以上の旅行業務取扱管理者を選任しなければならない。

⇒ 交代勤務で営業所へ常駐



農家民宿等で構成する団体の営業所



9:00 11:00 14:00 17:00

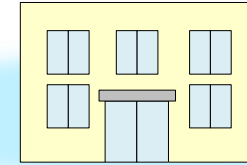


【課題】繁忙期は毎日の営業所への出勤が困難。。。



自営業に従事している間も電話等による連絡体制を構築し、必要に応じて営業所に出勤することで、管理者としての職務を果たす

希望する実施内容



農家民宿等で構成する団体の営業所

9:00 11:00 14:00 17:00

営業所への
常駐時間を短縮



電話等による
連絡体制を構築



勤務要件を緩和することで旅行業務取扱管理者の負担を軽減し、兼業職種でも地域活性化を図る

仙北市における国家戦略特区の取組と今後の目標



ドローン



外国医師
(玉川温泉)



自動運転



旅行業



農業生産法人

将来像: 小さな国際文化都市

グローバル・イノベーションのモデル構築

将来像を実現させるための事業

- ・AI等の活用を含めた近未来技術による農業展開
- ・自動走行とIT技術を組み合わせた中山間地における交通システムの実現
- ・玉川温泉を核とした地方創生

仙北市×内閣府

仙北市特区推進共同事務局（案）

- 仙北市における国家戦略特区を活用した規制改革等を推進するため、内閣府及び仙北市による共同事務局を設置する。事務局長及び構成員は以下のとおり。
- 上記事務局は、「国家戦略特区ワーキンググループ」と密接に連携・協力するものとし、関係者は、必要に応じ、参画できるものとする。
- 共同事務局の開催にあたっては、テレビ会議システム等を有効活用する。

【組織図】

事務局長：岸 博幸

国家戦略特区ワーキンググループ委員
（慶應義塾大学大学院教授）

国家戦略特区
ワーキンググループ

連携・協力

仙北市（7名）

事務局次長：仙北市総務部
地方創生・総合戦略統括監
以下、6名の構成

内閣府（8名）

事務局次長：内閣府 地方創生推進事務局
審議官（国家戦略特区担当）
以下、7名の構成員

仙北市特区推進共同事務局 構成員

事務局長 岸 博幸

仙北市 (7名)

内閣府 (8名)

事務局次長

仙北市 総務部
地方創生・総合戦略統括監
小田野 直光

総務部次長

総務部地方創生・総合戦略室

室長
同 課長補佐
同 主査
同 主任
同 主事

大山 肇浩

藤村 幸子

畠山 徹

杉村 真枝

明平 英晃

齋藤 郁弥

事務局次長

内閣府 地方創生推進事務局
審議官 (国家戦略特区担当)
村上 敬亮

参事官 (国家戦略特区総括班)

参事官 (サンドボックス班)

参事官補佐 (国家戦略特区総括班)

主査 (国家戦略特区総括班)

サンドボックス班

国家戦略特区総括班

国家戦略特区特命班

蓮井 智哉

飛田 章

松本 佑史

鎌田 いづみ

小林 穰

吉松 良祐

小松 暁子